

いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。
今号は以下の内容でお送りいたします。

★————INDEX————★

- [1] 【常務理事コラム】 知識と技術を融合させ、真のプロ
フェッショナルパイロットへ
- [2] 【航空局】 航行不能航空機の撤去に関する空港運用ガイ
ダンスに関する航空局との Q&A について
- [3] 【航空局】 R6.11.28 適用 航空保安業務処理規程第 5 管
制業務処理規程の一部改正（GADSS 導入、ピークデイ交通量
報告書の廃止他）について
- [4] 【航空局】（お知らせ）防衛省の破壊措置ノータム
（北朝鮮による「衛星」発射）の期間延長について
- [5] 【お知らせ】 採用情報
- [6] 【会員限定】 気象庁見学会・G58 または C172S（選択式）
を用いた基本計器飛行・スペシャル VFR 体験および安全セミナー
- [7] 【お知らせ】 第 22 回小型航空機セーフティセミナー
2024 年 2 月 6 日～7 日 東京/オンライン開催 お申込み受付開始
- [8] 【VOICES FEEDBACK】
 - <①>Pushback 開始前の Procedure をスキップ
 - <②>ギアのセーフティー機構に
- [9] 【お知らせ】 JAPA E-Journal の公開
- [10] 【新発売】 JAPA SHOP よりご案内
- [11] 【お知らせ】 JAPASHOP の年末年始のお休みについて
- [12] 【お知らせ】 セミナー・イベント
- [13] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について



[1]【常務理事コラム】知識と技術を融合させ、真のプロ
フェッショナルパイロットへ

常務理事 小野 和彦



安全かつ正確なフライトを実現するためには、「知識」と
「技術」のどちらも欠かせません。しかし、それらが別々
に存在しているだけでは不十分です。知識と技術をうまく
融合させることで、初めて真のプロフェッショナルとして
の力が発揮されます。

知識の深さが技術を支える

航空理論、気象学、航空力学、法規や手順——これらの知
識は、フライト中の正しい判断を支える柱です。

例えば：

•着陸進入中に風向が急変した場合

気象学の知識が瞬時の判断に役立ちます。

•エンジントラブル発生時

航空力学の理解が最適な滑空アプローチを可能にします。

知識が深ければ深いほど、想定外の状況にも冷静に対応で
きる力が養われます。

技術は知識の「実践」

知識があっても、それを活かす技術がなければ意味があり
ません。シミュレーションや実機での訓練を通じて、知識
を実践に移す技術を磨きましょう。

技術を磨くポイント：

•知識に裏付けられた操作を常に意識する

•シナリオ訓練で臨機応変な対応力を養う

•イメージフライトで知識を実践的な技術に変換する

知識と技術の融合の鍵：メンタルモデル

「メンタルモデル」とは、頭の中に形成される一連のフライトシナリオや状況判断のパターンです。知識と技術を組み合わせ、さまざまな状況を想定することでメンタルモデルが構築されます。

メンタルモデルの例：

- 1.知識： 強風時の滑走路横断における注意点
- 2.技術： シミュレーションでクロスウィンド着陸を反復訓練
- 3.融合： 実際のフライトで強風に遭遇した際、理論と経験に基づきスムーズに対処

メンタルモデルがあれば、実際のフライトで瞬時に適切な判断ができるようになります。

日々の努力が融合を生む

知識の習得と技術の訓練を並行して行い、定期的に自分の判断や操作を振り返りましょう。これにより、知識と技術が自然と融合し、パイロットとしての自信と実力が高まります。

知識を磨き、技術を研ぎ澄まし、それらを融合させることで、さらなる高みを目指しましょう。

日本航空機操縦士協会は、皆様の安全な空の旅と成長をサポートします。



[2] 【航空局】 航行不能航空機の撤去に関する空港運用ガイドランスに関する航空局との Q&A について



国土交通省 航空局 安全部 空港安全室 より、「航行不能航空機の撤去に関する空港運用ガイドランス（令和6年9月30日付）」について、当協会所属会員への共有依頼があり、JAPA HP にて掲載しています。（以下関連掲載参照）

当該運用ガイダンスの内容に関して、ビジネス航空委員会が航空局に問い合わせた結果（Q&A）としてまとめましたので、合わせてご確認願います。

今後、各空港管理者・空港運営権者から運航者撤去作業計画や同意書の提出を求められることとなりますので、ご留意ください。

<https://www.japa.or.jp/9947>



[3] 【航空局】 R6.11.28 適用 航空保安業務処理規程第5管制業務処理規程の一部改正（GADSS 導入、ピークデイ交通量報告書の廃止他）について



航空局交通管制部管制課より、令和6年11月28日適用で、以下に関する航空保安業務処理規程第5管制業務処理規程が改訂されるとの連絡がありましたので、周知いたします。

《 概要 》

- GADSS 導入に伴う改正
- ピークデイ交通量報告書の廃止
- その他所要の改正（誤記修正等）

<https://www.japa.or.jp/9997>



[4] 【航空局】（お知らせ）防衛省の破壊措置ノータム（北朝鮮による「衛星」発射）の期間延長について



航空局より、従前から発行されておりました防衛省の破壊措置（北朝鮮による「衛星」発射）に係るノータムについて、

設定期間が「令和7年2月24日午前0時（日本時間）（予定）」まで延長になる新たなノータムが11月24日の18時（日本時間）以降に発行される予定の旨連絡がありましたので、お知らせいたします。

<https://www.japa.or.jp/10024>



[5] 【お知らせ】 採用情報



・ アジア航測株式会社

https://www.ajiko.co.jp/recruit/recruitment/career_aviation/%e6%93%8d%e7%b8%a6%e5%a3%ab/



[6] 【会員限定】 気象庁見学会・G58 または C172S（選択式）を用いた基本計器飛行・スペシャル VFR 体験および安全セミナー



GA 委員会では、以下の日程で見学会・安全セミナーを行うこととなりました。

会員様限定の見学会・安全セミナーになりますので、奮ってご参加ください。

1. 見学先、内容

気象庁:

航空路火山灰情報センターの見学、気象防災オペレーションルーム、空域予報班の業務紹介や FBJP の作成方法および意見交換会

JAPA: G58 または C172S（選択式）を用いた基本計器飛行・スペシャル VFR 体験および安全セミナー

セミナーの内容

- ・エアラインの運航について（定時運航に厳しい理由、エアラインのルート等）
- ・TCAS の仕組み（どの程度の距離で感知するのか、何機まで補足するのか等）
- ・SAR の仕組み（SAR 用衛星、SAR に要する時間等）
- ・服薬について、航空身体検査区分の変更（自家用操縦士）
- ・その他（ここ最近の変更点）

※技能証明未保有者は自由操舵（操縦体験）になります。

2. 見学日時

2025 年 2 月 17 日 09:30~18:00（仮）

3. 参加条件

当協会の会員であること（会員の種別は問わない）

※参加に際し、見学先に写真付の公的身分証明証を求められる場合がありますのであらかじめご了承ください。

4. 定員

20 名（先着順）

5. 参加費 ※事前決済（クレジットカード）

5,000 円（但し、現地までの交通費、宿泊費などは、自己負担とさせていただきます。）

6. その他

終了後、JAPA 事務所周辺にて懇親会（18:30~20:30）を予定しております。参加は任意です。（会費は、5,000 円程度を予定、当日集金いたします。）

<https://www.japa.or.jp/10037>



[7] 【お知らせ】 第 22 回小型航空機セーフティセミナー

2024 年 2 月 6 日~7 日 東京/オンライン開催 お申込み受付開始



【開催日時】

セミナーⅠ：2025年2月6日（木）10:00～16:30

セミナーⅡ：2025年2月7日（金）10:00～16:30

【開催方法】

ハイブリット形式（来場+オンライン Zoom）

【会 場】

航空会館ビジネスフォーラム

〒105-0004 東京都港区新橋 1-18-1 航空会館 501+502 会議室

【受講費】

会員：1,000円（税込）

一般：8,000円（税込）

【申込開始】

2024年12月9日

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=6>



[8] 【VOICES FEEDBACK】

<①>Pushback 開始前の Procedure をスキップ

<②>ギアのセーフティー機構に



①福岡からの出発で、定刻より約1時間後のEDCTが設定されていた。Spotの占有時間を減らすため、“Power Off PushbackしてTWY上でTowing Tractorを着けたままの待機は可能か？”、とGNDよりPAX Boarding中に聞かれた。地上担当者から可能との返答を受け、その旨を管制に伝えた。PAX Boarding完了後、管制よりPower Off PushbackのClearanceを得た。その際、Before Start Procedure

と Before Start Checklist を実施することなく、
地上担当者へ「We are Cleared for Pushback,
Face to North. Power Off Pushback でここ 6R
を Clear してください」と伝えた。
通常と違う指示内容に意識が行き過ぎていたと思う。

☞ VOICES コメント

Power Off Pushback の背景として、エンジンがかかっていない機体から Towing Tractor を外してしまうと障害物として扱うことになり、場所によっては制限表面に影響するため、滑走路運用に支障を及ぼす場合があるとのこと。

②ギアのセーフティー機構に気付かなかった Air Work
訓練後の帰投中、外気温が-20°Cと低かったので Gear Down Descent を行った。Level Off する高度の 200ft ほど手前で Gear Up にしたが、モーター音が鳴らず、3 Green が点灯したままとなっていた。「Visual REP で Hold し、Manual Extension Checklist を行います」と Intention を出した直後、モーターが作動し Up and Off を確認できた。「着陸のための Gear Down のときにスムーズに 3 Green にならなければローパスして Check してもらいます」と教官に伝えた。着陸後、冷静に考えると Manifold Air Pressure 15inch-Hg 以下では Gear が Up にならない Safety 機構によるものだと分かった。普段の訓練でも Gear Down Descent を行っていたが、Gear が上がらなかったのは今回が初めてであり焦ってしまった。気流が悪く、いつもよりも少ない Power を Set していたことによるものだと考えられる。知識を実運航に活かすことの大切さを再認識した。



[9] 【お知らせ】 JAPA E-Journal の公開



E-Journal を公開致しました。

ぜひご覧ください。

《ビジネス航空委員会》

- ・【JAPA E-Journal 2024-015】 航行不能航空機の撤去に関する空港運用ガイダンスに係る Q & A
- ・【JAPA E-Journal 2024-016】 SWIM の導入について

《運航技術委員会》

- ・【JAPA E-Journal Rev2_2024-012】 小型機の航空ガソリンに関する現状（改訂 2）

<https://www.japa.or.jp/e-journal>

★

[10] 【新発売】 JAPA SHOP よりご案内

★

【新発売】

- ・パイロットストーリー ランディング道場 BE A PILOT HUD スマホスタンド セット
- ・JAPA-254 (TCA チャート 中部・名古屋・浜松)

ご注文については以下 JAPA SHOP をご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/japa-shop>

★

[11] 【お知らせ】 JAPASHOP の年末年始のお休みについて

★

年末年始期間における、JAPASHOP の発送予定は以下の通りとなります。

年末 発送最終受付：

2024 年 12 月 25 日(水)15：00 ご注文分※まで

※商品代金をご決済済でないとは発送ができませんので、ご注意ください。

≪12/26（木）～1/6（月）発送お休み≫

年始 発送開始日：

2025年1月7日(火)より順次発送予定

以上、ご不便をお掛けいたしますが、宜しくお願い致します。



[12] 【お知らせ】 セミナー・イベント



≪航空安全講習会≫

12月21日 東京 / ハイブリット開催

1月18日 愛知 (HCJ 主催)

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=3>

≪Fly with us～空の仕事ワークショップ～≫

12月21日 大阪開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=4>

≪こども航空教室・操縦体験≫

12月15日・26日 東京開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=11>

≪SRM セミナー≫

2月28日 東京 / ハイブリッド開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=1>



[13] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について



JAPA では会員を募集しております。

ご入会いただけますと、AIM JAPAN の配布の他、団体割引を適用した、JAPA 団体保険（ロスオブライセンス）へのご加入も可能ですので、ぜひご検討ください。

詳細は以下ホームページよりご覧ください。

オンライン入会を導入いたしましたので JAPA ホームページからすぐに入会手続き可能です。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。

<https://www.japa.or.jp/member>

★次回の配信は1月中旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

【発行】公益社団法人 日本航空機操縦士協会
電話 03-6809-2902

メール japa@japa.or.jp

ホームページ <https://www.japa.or.jp/>
